

第52回 東京圏国家戦略特別区域会議
千葉県 提出資料

令和8年5月27日（水）



令和7年7月



これまでの千葉県の取り組み

東京圏国家戦略特区の区域が千葉県全域に拡大

国家プロジェクトとして取組が加速する成田空港の機能強化を契機として、国際的ビジネス拠点の形成とイノベーションの促進を通じた国際競争力のある新事業創出を目指す。

【令和7年度末までの実績】

○物流・医療・創薬・介護・都市計画など幅広い分野で計10件の新規提案

○「航空物流に係る外国人材の活用拡大」や「家事支援外国人受入事業」など計3件の特例を活用



規制改革を推進し、民間投資を呼び込む環境を整備

国際的ビジネス拠点形成・新事業創出に向けた本県のポテンシャル

千葉・幕張新都心エリア

- ・近未来技術の活用に関する実証
- ・国際ビジネス拠点への企業誘致

主な推進主体
・千葉市
・ちばドローン実証ワストップセンター
・ドローン宅配等分科会・技術検討会
・幕張新都心モビリティコンソーシアム 等

北千葉道路沿線エリア

- ・都心、成田空港、柏の葉等との近接性を生かした産業・地域づくりの推進
- ・鉄道ネットワークの結節点等における企業誘致

京葉臨海エリア

- ・日本最大のコンビナートにおけるカーボンニュートラル化を通じた国際競争力強化
- ・千葉港・木更津港におけるカーボンニュートラル推進

主な推進主体
・京葉臨海コンビナートカーボンニュートラル推進協議会
・港湾脱炭素化推進協議会

アクアライン着岸地・かずさアカデミアパーク周辺エリア

- ・アクアライン着岸地周辺における企業誘致
- ・かずさDNA研究所・バイオ関連企業の立地を生かしたイノベーション促進

主な推進主体
・かずさDNA研究所・NITE
・かずさアカデミアパーク立地企業

柏の葉エリア

- ・ライフサイエンス（創薬・医療機器等）におけるイノベーションの促進
- ・研究開発拠点やスタートアップ企業の誘致

主な推進主体
・柏の葉ライフサイエンス協議会
・UDCK
・立地する大学・研究機関・企業等

成田空港周辺エリア

- ・国際航空物流機能の強化
- ・空港の特徴や強みを生かせる産業（精密機器・健康医療・航空宇宙・農業・観光）の拠点形成に向けた取組

主な推進主体
・成田市
・成田空港に関する四者協議会
・NRTエリアデザインセンター（R7.4～）
・成田空港活用協議会 等

現状

放射性核種を用いた非臨床（動物）試験において、外部の専門試験施設に組織片を持ち出し検査を行う場合、使用核種が非臨床試験前に下限値(※)を超えるなど規制対象になると、組織片の放射性同位元素が減衰し、数量または濃度が下限値以下になったとしても、RI法に基づく手続きが必要。

課題

RI法に基づく手続きは非常に負担が大きく、迅速な対応が難しいため、規制対象となった組織片については、研究所に専門家を招いて検査(年2回計400サンプル)を行っており、開発スピードが阻害されている。

(※)原子力規制委員会告示「放射線を放出する同位元素の数量等を定める件」

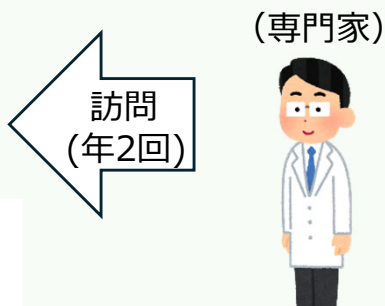
提案

放射性医薬品開発に係る検体を一般的な検体と同様の取り扱いに

いったん規制対象となった放射性同位元素であっても、非臨床試験目的での持ち出し時に組織片の放射性同位元素の数量または濃度が、告示で定める下限値以下である場合には、RI法の規制対象外とし、管理区域外（外部の専門試験施設(RI法の使用許可を受けていない施設を含む)）に持ち出して使用することを可能に。

現状

専門家が研究所を訪問し、検査を実施

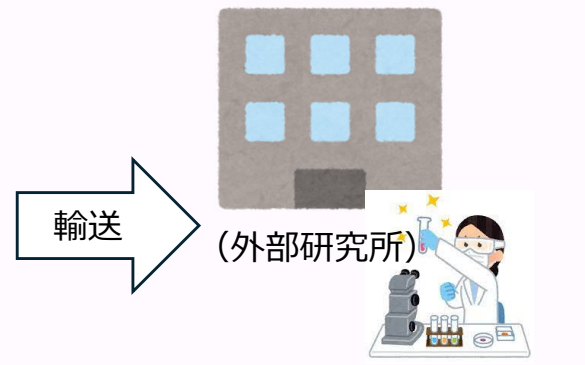
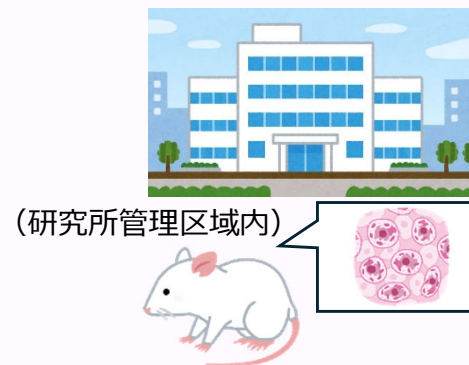


訪問
(年2回)

※対応できる人材が限られ、
時間的制約が大きい

提案後

研究所で動物実験した組織片の放射性同位元素が下限値以下である場合、外部研究施設へ輸送して使用を可能に



輸送

効果

放射性医薬品の開発スピードがアップし、国際競争力の強化に資する

イノベーションを実現！